

TPM-i-BZ

Diagnostic & Maintenance Tool

重要

ご使用前に必ずお読み下さい

出荷時に診断ソフトはインストールされておりません。登録・アップデート後に診断を行ってください。

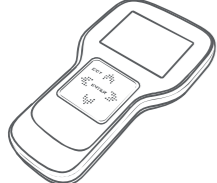
下の画面の場合は診断ソフトがインストールされていない状態です。本書を参考にユーザー登録とアップデートを行って最新の状態でご使用ください。アップデートプログラムはWindows Vista以降に対応しています。



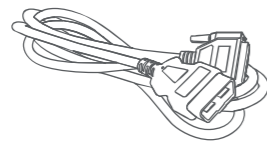
TPM-i-BZ パッキングリスト

本製品のパッケージには以下の商品が含まれています。お使いになる前にご確認ください。

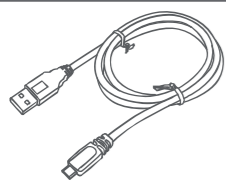
リスト内の製品は予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。



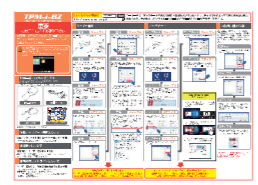
TPM-i-BZ 本体



OBDII ケーブル



USB ケーブル



クイックスタートガイド (本書)

車両修理ホットラインのカード / 利用規約が合わせて同梱されております。

無償アップデート期間について

無償アップデート期間：ユーザー登録から1年間
※2年目以降は別途アップデート契約が必要です。

保証期間について

保証期間：ユーザー登録から1年間
期間終了後1ヶ月以内にアップデート延長申込をされた場合に限り、本体保証も1年間延長されます。

車両修理ホットラインについて

ユーザー登録から1年間は回数無制限で使用可能
※2年目以降は別途延長契約が必要です。
※車両修理に関するお問合せのみとなります。
ユーザー登録方法 / アップデート方法 / 保守等は購入頂いた販売店にご連絡下さい。

うまく行かない場合は！

バンザイ

検索

ユーザー登録・アップデートを行なう際にお客様のパソコンのセキュリティソフトによってうまく行かない場合があります。その場合はバンザイホームページのTPM-i-BZのページを参照して下さい。
<http://www.banzai.co.jp/>

ユーザー登録

登録 ステップ1

TPM-i-BZとパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。

登録 ステップ2

デスクトップ上の「コンピューター」または「PC」をダブルクリックします。

※Windows10を使用している場合は、本書の「Windows10ご使用時のパソコン操作方法」を参照してください。

登録 ステップ3

エクスプローラーが起動します。「リムーバブル記憶域があるデバイス」又は「デバイスとドライブ」に「TPM-i-BZ」が表示されます。

「TPM-i-BZ」をダブルクリックしてください。ファイルが多数表示されます。

登録 ステップ4

「tpm-i-bz.exe」(アプリケーション)をダブルクリックしてください。

IPLexc	2017/06/15 13:12	EXC ファイル
pass.ini	2017/06/15 13:12	構成設定
pc_01.png	2017/06/29 17:07	PNG ファイル
tpm-i-bz.exe	2017/05/15 11:28	アプリケーション
uni2sjis.dat	17/06/15 13:12	DAT ファイル
ver.dat	17/06/15 13:12	DAT ファイル

登録 ステップ5

「登録内容変更」ボタンを押します。

登録 ステップ6

プライバシーポリシーを読んで内容をよく理解して「同意する」ボタンを押します。

登録 ステップ7

「ユーザー登録」画面が表示されますので、各入力欄にお客様の情報を入力し「送信」ボタンを押します。

※入力欄は全て埋めてください。未入力欄があると送信できません。

※この画面が出ない場合は一度「ステップ5」の画面で「アップデートチェック」ボタンを押してから、再度「登録内容変更」ボタンを押してください。

※「アップデートチェック」ボタンを押してから再度「登録内容変更」ボタンを押しても進まない場合はバンザイホームページよりユーザー登録を行ってください。

登録 ステップ8

送信が完了しましたら登録したメールアドレスのメールを確認してください。「admin@scantool.jp」より「scantool.jp 登録受付メール」が届きます。メールを開いて本文にあるリンクをクリックしてください。

登録確認確認
下記リンクをクリックすると認証が完了します。
<http://www.scantool.jp/script/confirm.php?passkey>

メールが届かない場合は「迷惑メール」の欄に移動されていないか確認してください。リンクをクリックするとお使いのブラウザで「認証完了」ページが表示されます。

アップデート

アップデート ステップ1

TPM-i-BZとパソコンを付属のUSBケーブルで接続します。

アップデート ステップ2

デスクトップ上の「コンピューター」または「PC」をダブルクリックします。

※Windows10を使用している場合は、本書の「Windows10ご使用時のパソコン操作方法」を参照してください。

アップデート ステップ3

エクスプローラーが起動します。「リムーバブル記憶域があるデバイス」又は「デバイスとドライブ」に「TPM-i-BZ」が表示されます。

「TPM-i-BZ」をダブルクリックしてください。ファイルが多数表示されます。

アップデート ステップ4

「tpm-i-bz.exe」(アプリケーション)をダブルクリックしてください。

IPLexc	2017/06/15 13:12	EXC ファイル
pass.ini	2017/06/15 13:12	構成設定
pc_01.png	2017/06/29 17:07	PNG ファイル
tpm-i-bz.exe	2017/05/15 11:28	アプリケーション
uni2sjis.dat	17/06/15 13:12	DAT ファイル
ver.dat	17/06/15 13:12	DAT ファイル

アップデート ステップ5

認証完了後「アップデートチェック」ボタンを押します。

アップデート ステップ6

アップデートが始まりソフトが TPM-i-BZ に書き込まれます。

アップデート ステップ7

「アップデート完了」が表示されましたら[OK]を押してアプリケーションを終了してください。終了後、パソコンから TPM-i-BZ を取り外してご使用ください。

Windows10ご使用時のパソコン操作方法

- ①画面左下の Windows マークをクリックします。
※キーボードの「Windows キー」でも表示できます。
 - ②メニューを開いたら「エクスプローラ」をクリックして開きます。
 - ③エクスプローラ画面が表示されたら、左側メニューより「PC」をクリックして選択します。
-

取扱説明書の保存

取扱説明書はPDFファイルになっています。ご覧になるにはAdobe®READER®が必要ですが、またバージョンの違いで表示できない場合がありますので最新バージョンをダウンロード/インストールしてご覧になることをお勧めします。

ステップ1

「TPM-i-BZ アップデート」を起動して「取扱説明書」をクリックします。

ステップ2

取扱説明書のダウンロードが開始されます。

ステップ3

ダウンロードが完了すると保存先を聞いてきますので、任意の場所に保存して下さい。保存できない場合は、保存場所を変えて保存してください。

ステップ4

先程保存した場所にダウンロードしたファイルがあります。ダブルクリック (または右クリックで開く) で表示させます。

取扱説明書がうまくダウンロードできない場合はバンザイのホームページ (TPM-i-BZ のページ) よりダウンロード可能です。

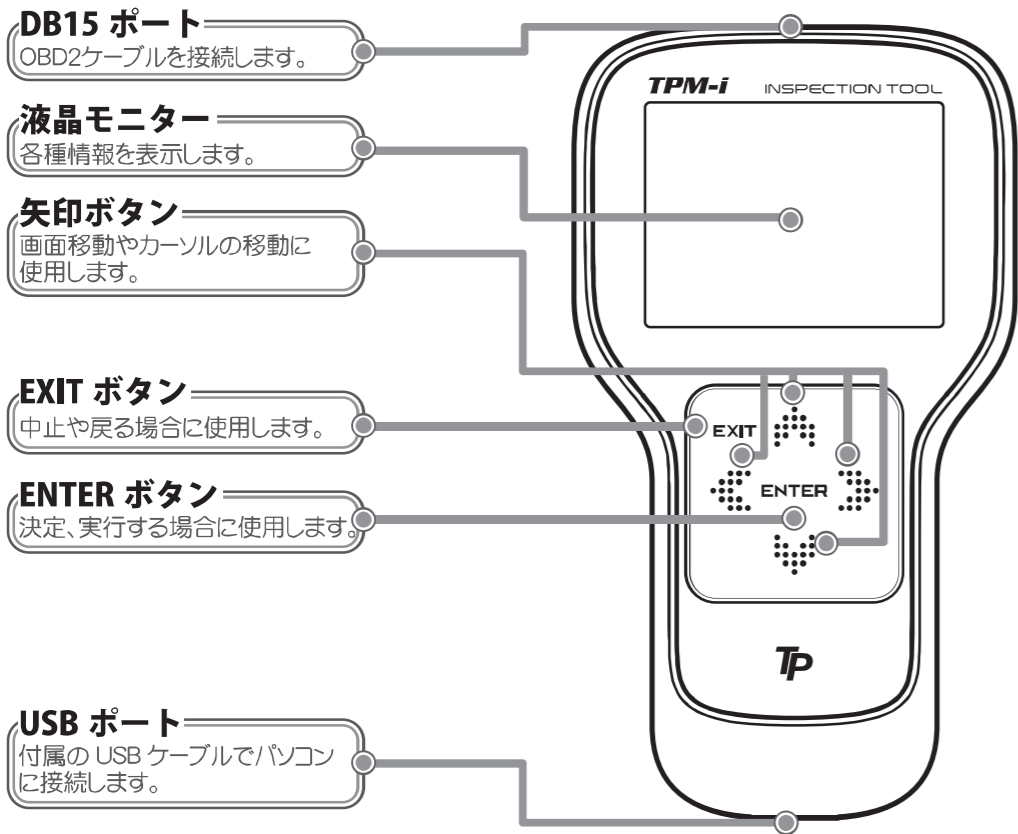
引き続きアップデートを行います。
ユーザー登録完了後、右欄のアップデート「ステップ5」へお進みください。
うまく行かない場合はアップデート「ステップ1」から進んでください。

ソフトのバージョンアップも日々行っております。
定期的にアップデートを行って頂き、最新版でご使用下さい。
1ヶ月に1回程度のアップデートを推奨しております。

TPM-i-BZ クイックスタートガイド

201708

各部名称



基本操作

診断を行なう場合は以下の手順で操作してください。

- ・ソフトのアップデートを行い最新の状態でご使用ください。
- ・本体やケーブルに破損や損傷などがなければ確認してください。
- ・診断は基本的にイグニッション「ON」の状態で行ってください。
- ・診断がうまくいかない場合はコネクタの接続やイグニッションが ON であるか確認してください。
- ・診断を終了する際は「メーカー選択」画面まで戻りイグニッションを OFF にして取り外してください。

ステップ 1

車両がイグニッション OFF であることを確認して TPM-i-BZ を接続しイグニッション ON にします。



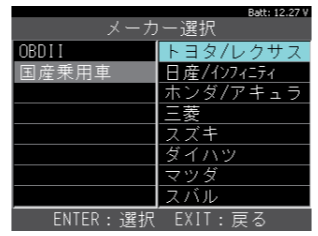
ステップ 2

メインメニューが表示されます。「診断」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



ステップ 3

メーカー選択画面が表示されますので、診断するメーカーを選択して [ENTER] ボタンを押します。



ステップ 4

診断ソフトが起動した後「地域設定」などがある場合は選択して [ENTER] ボタンを押します。



ステップ 5

診断ソフトによっては「自動検出」から診断車両を特定できます。「自動検出」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



ステップ 6

「ブランド」「車名」「型式」などを [ENTER] ボタンを押して順に選択していきます。



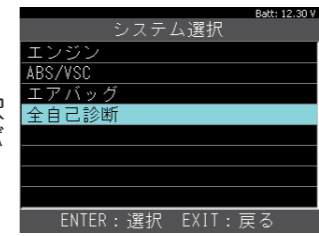
ステップ 7

診断ソフトのメインメニューが表示されます。故障コードの読取りは「診断」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



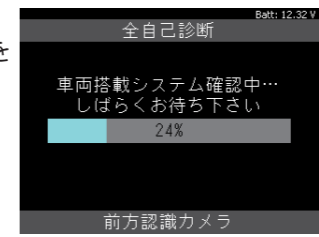
ステップ 8

例では全てのシステムを診断しますので「全自己診断」を選択して [ENTER] ボタンを押します。



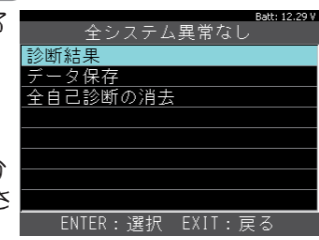
ステップ 9

車両の各システムの故障コードを読み取ります。



ステップ 10

全自己診断完了の画面です。「診断結果」「データ保存」「全自己診断の消去」の項目から選択してください。



画面説明

診断
各種診断を行います。

設定
言語など本体設定を行います。

本体 ID
シリアル No.・アップデート期間を表示します。

メンテナンスモード
エア抜きやバッテリー交換時のリセット等車検整備に必要な項目が集約されています。

履歴
保存した故障コードやデータ等を画面に表示することができます。

バッテリー電圧
接続されている車両のバッテリー電圧を ECU から読取り表示されます。

選択カーソル
選択されている項目欄の色が変わり、文字が反転して表示されます。

ページ数
ページ数が表示されます。上下キーで表示内容が変更できます。

故障コード内容
故障コードの内容が表示されます。

メインメニュー画面
TPM-I-BZ メニュー

全自己診断結果画面
現在のシステムやメッセージが表示されます。

システム
システム名が表示されます。

故障コード数
故障コード数が表示されます。

故障コード
P/B/C/U で始まる故障コード、メーカー独自コードなどが表示されます。

データ保存
データを本体内に保存します。[履歴]メニューまたはパソコンで表示できます。

診断結果の表示

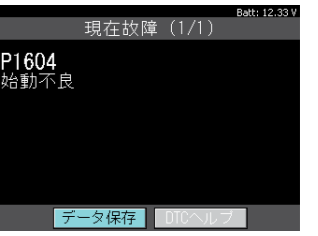
故障コードがない場合はシステム名の後に「OK」が表示されます。故障コードがメモリされている場合は故障コードの数が表示されます。(例: コードが 2 個ある場合「2 DTC」)



故障コードと内容を確認するには希望するシステムを選択して [ENTER] ボタンを押します。続いて「故障コードの読取り」を選択して [ENTER] ボタンを押します。

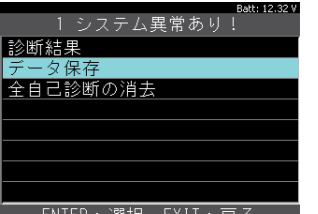


故障コードは番号 (例: P01604) と内容 (例: 始動不良) で表示されます。また複数ある場合は上下矢印でその他の故障コードを表示できます。



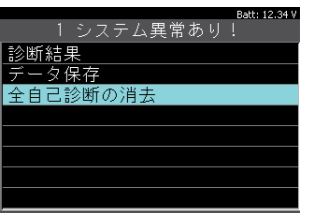
診断結果の保存

診断結果を保存したい場合は「データ保存」を選択して [ENTER] ボタンを押します。「保存しました」のメッセージとともに画面中央に保存されたファイル名 (例: TOYOTA_DTC-001) が表示されます。保存したファイルは「履歴」メニューやパソコンで確認できます。ファイルは本体内の「Reports」フォルダに保存されています。



診断結果の消去

故障コードの消去を行う場合は「全自己診断消去」を選択して [ENTER] ボタンを押します。各システムの故障コードを消去していきます。



※消去はイグニッション ON で行います。

※消去できない場合は、現在も故障が発生しており、現在故障としてコードがメモリされている状態です。

